

■ 3 年 生活習慣に関する「意識調査 (R8)」

ほとんどの質問項目で県平均や全国平均をやや上回った

【 数値が高かった項目 】

	調 査 の 項 目
①	朝食を毎日食べていますか。
②	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。
③	人の役に立つ人間になりたいと思いますか。

分析結果と課題	・ 基本的な生活習慣が確立している。 ・ 人と関わる基本的なコミュニケーション能力を習得している。
改善に向けた取組	・ 継続。 ・ 他者とコミュニケーションをとる時間を確保。

【 数値が低かった項目 】

	調 査 の 項 目
①	学校に行くのは楽しいと思いますか。
②	普段の生活のなかで、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。
③	学校の授業以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日どれくらいの時間、勉強しますか。

分析結果と課題	・ 自己肯定感が低い。 ・ 学習の習慣づけができていない。 ・ 学習に対する意欲が低い。
改善に向けた取組	・ 学校生活を通して、自己肯定感の醸成を促す機会の確保。 ・ 家庭学習の習慣づけ（「かけはしノート」の有効的な活用）。 ・ 宿題（各教科の課題）の工夫。

■ 3 年「国語科（R8）」

正答率は県平均と同じで、全国平均をやや下回った

【 数値が高かった項目 】

	調 査 の 項 目
①	知識・技能 言葉の特徴や使い方に関する事項（漢字の書き）
②	思考・判断・表現 書くこと（表現の効果を考えて描写する）
③	思考・判断・表現 読むこと（文章の中心的な部分と付加的な部分を捉える）

分析結果と課題	正しい漢字を選んだり書いたりする問題では県平均を大きく上回った。全体的に無回答率が低い傾向にあり、問題に対する意欲は感じられるが、記述式での無回答率が高い。
改善に向けた取組	記述式における無回答率を下げるために、I C Tを活用して語彙力や発想力を支援しつつ、授業の中で書く活動を増やし、粘り強く取り組む姿勢を身につけさせる。

【 数値が低かった項目 】

	調 査 の 項 目
①	思考・判断・表現 書くこと（段落相互の関係を捉えて文章展開を工夫する）
②	知識・技能 言葉の特徴や使い方に関する事項（文脈上の意味を捉える）
③	思考・判断・表現 読むこと（目的に応じて必要な情報に着目して要約・解釈する）

分析結果と課題	目的に応じて読み取る、文脈に応じて解釈する、条件に応じて書く、などの問題で県平均を大きく下回った。話し手や書き手の意図をくみ取って理解する問題を苦手とする傾向にある。
改善に向けた取組	授業の中で、目的に応じて読んだり条件に合わせて書いたりする活動を増やす。また、語句の意味調べだけでなく、類義語や対義語を調べたり、文脈に応じて書き換えたり言い換えたりする学習を入れる。

■ 3 年「数学科（R8）」

正答率は県平均、全国平均ともにやや下回った

【 数値が高かった項目 】

	調 査 の 項 目
①	文字式の利用
②	正の数と負の数
③	関数の座標

分析結果と課題	・ 問題場面における考察の対象を正しく捉えることができています。 ・ 事柄が成り立つ理由を、文字を使って証明することができています。
改善に向けた取組	・ 授業の中で類似問題の演習を多く取り入れ、確実な学力の定着を目指す。ペア学習やグループ学習を設定し、自分の考えや思考の流れを表現できるようにしていく。

【 数値が低かった項目 】

	調 査 の 項 目
①	平行線の条件
②	図形の証明
③	累積度数

分析結果と課題	・ 平行線の条件を十分に理解していない。 ・ 対象となる角を、文字を使っ的確に捉えることができていない。 ・ 累積度数の意味を十分に理解していない。
改善に向けた取組	・ 基礎・基本の定着を図るために、授業の中で数学的な用語の確認を行うとともに、基本的な問題を反復練習する。 ・ 過去の類似問題に取り組ませることで、「思考・判断・表現」の分野の向上を目指す。

■ 3年「英語（R8）」

正答率は県平均を上回り、全国平均をやや下回った

【 数値が高かった項目 】

	調 査 の 項 目
①	13 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを理解し、まとまりのある文章を書くことができる
②	5 社会的な話題について、話を聞き、要点を捉えることができる
③	8 日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取るができる

分析結果と課題	・「したいこと」と「その理由」を書く問題については、県や全国平均を大きく上回る。「最も伝えたいこと」や「必要な条件」などキーワードを捉えることは県や全国平均を大きく上回る。
改善に向けた取組	・長文読解に取り組む際に、「最も伝えたいこと」「必要な条件など」キーワードを探したり、自己表現の言語活動の場面で、自分の考えを伝える活動を行ったりして、定着を図る。

【 数値が低かった項目 】

	調 査 の 項 目
①	9 日常的な話題について、短い文章を読み、概要を捉えることができる
②	2 日常的な話題について、目的に応じて、必要な情報を聞き取ることができる
③	7 日常的な話題について、目的に応じて、必要な情報を読み取ることができる

分析結果と課題	必要な情報を読み取ったり、聞き取ったりすることは県や全国平均より大きく下回った。問題形式に慣れていないこと、語彙力不足が要因と考えられる。
改善に向けた取組	授業の中で、語彙力をあげるために、品詞別や語源などまとめて覚えたり、ICTを活用して、語彙力の定着につなげたり、言語活動を通して、運用語彙を増やす表現活動を随時行っていく。